

事務事業評価表 平成24年度

政策 安全で快適な都市生活の充実  
 施策 危機管理の強化・充実  
 基本事業 危機管理機能の強化

事業名 **大学連携防災モデル事業**

[0956]

部名	総務部	事業開始年度	平成23年度	実施計画事業認定	非対象
課名	総務課参事(危機対策 防災担当)	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>浸水想定区域における居住型社会福祉施設</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>モデル計画を提示することによる居住型社会福祉施設の避難計画策定の促進</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>北翔大学に防災に関する調査研究を委託する。平成21年、22年度の大学連携事業「災害時要援護者の避難計画策定に関する調査研究」をもとに避難計画のモデルを立案</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	浸水想定区域の居住型社会福祉施設数	施設			16	
対象指標2						
活動指標1	シミュレーション実施数	回			2	0
活動指標2						
成果指標1	避難計画策定施設の数	施設			0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	0	0	845	0
正職員人件費(B)		千円	0	0	8,026	0
総事業費(A) + (B)		千円	0	0	8,871	0

費用内訳	
23年度	委託料 845千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	平成 21、22年大学連携調査研究事業の継続事業	事業を取り巻く環境変化	平成23年度で終了する事業である
--------	--------------------------	-------------	------------------

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

水防法第15条

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由  
・  
根拠は？

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

施設ごとの避難計画の策定数増加が見込める。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由  
・  
根拠は？

平成23年度で終了する事業である